

編集 後記

今年度から編集委員を拜命いたしました。昨年度までは査読委員を担当していたこともあり、この経験を基に、日本公衆衛生雑誌の更なる発展に微力ながら尽力して参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今回お届けする第56巻第6号は、原著論文と資料を二篇ずつ掲載しています。二篇の原著論文は、公衆衛生を構造・過程・成果の面から評価するうえで重要な研究です。一方の資料は、どちらもユニークな視点に基づく研究報告で、父親の育児支援行動、わが国の社会福祉・介護の法的権利保障を分析しています。

今月号の掲載論文でもそうですが、公衆衛生は学際的な実学であることを特徴としており、さまざまなバックグラウンドの人々によって支えられていると言えます。私は、日本公衆衛生雑誌が公衆衛生の更なる発展に寄与していくためには、現場の問題を独創的な視点で検討する研究と、第一線での公衆衛生活動報告が、車の両輪の如く、相互に補完することが重要であると考えています。本学会総会で報告される演題数に比べ、本誌への投稿数が多くはないと言われて久しい中、本誌への論文投稿の心理的な垣根を低くすることと共に、論文執筆の際の技術的サポートを、編集委員の一員として担えましたら幸いです。(石崎達郎)

次号予告 (第56巻・第7号)

原著

乳幼児をもつ保護者による医療機関の利用に関連する社会的要因
東京近郊のある市の調査から……下開千春

資料

新潟県中越地震における地域コミュニティと子供の食環境に関する実態調査……川野直子, 他
新潟県中越地震における震災直後の子供の食生活について……川野直子, 他
Family Relationships Index (FRI) 日本語版に基づいた家族関係尺度の作成の試み……田口良子, 他

連載

運動・身体活動と公衆衛生(10) ……川久保 清
わが国の結核対策の現状と課題(10)……加藤誠也
心理社会的要因の測定(4)……堤 明純

第56巻5号につきまして下記のとおり訂正願います。

P 322 吉本好延→吉本好延

『衛生行政大要 第22版』刊行のご案内

本書は、保健衛生行政に従事している方々、これから志す方々および地域保健の実務に携わる方々のための保健衛生行政の現状と課題を解説する書として、昭和31年来、刊行を続けています。

今年度より全面実施された医療制度の総合的改革、改正された老人保健制度に基づく特定保健指導の実施をはじめ、昨今、保健衛生行政を巡る動きには激しいものがあります。また、インフルエンザ等感染症の問題など様々な課題が山積しております。少子・高齢化が顕著な現代社会において、特に衛生行政サービスは、保健・医療・福祉間相互の連携を密接にした新たな展開が求められています。

本書では、これらの内容を、今日の時点で整理し、更に充実を図る改訂をいたしました。前版に引き続き、第22版(約296頁)も是非お手元におき、参考にしていただきたいと思います。

<目次>

—総論—

- 第1章 衛生行政の基本的な考え方
- 第2章 衛生行政制度の現状
- 第3章 社会保障制度

—各論—

- 第1章 保健及び関連福祉
- 第2章 医療
- 第3章 薬事
- 第4章 生活衛生
- 第5章 環境保健
- 第6章 学校保健
- 第7章 労働衛生
- 第8章 国際保健

定価3,700円(税別) …第21版と同じ価格に据え置きました。
お近くの書店へご予約お申し込みください。

当協会へ、直接、まとめてご注文いただける場合は、以下の割引がございます。

10~29冊…15%オフ (3,145円 税別)

30冊以上…20%オフ (2,960円 税別)